

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

学校名	唐津市立呼子小学校		
1 前年度 評価結果の概要	・「呼子プライドを育む教育」として地域を題材とした学習を充実させ、その取組みを発信することができた。取組みの振り返りを大切にし、自己肯定感を高めていくことで夢に向かって努力する児童の育成を図っていく。 ・校内研究により、共通した取組みを継続して「かく力」を育てると共に、家庭学習の充実を図り、基礎・基本の定着を目指す。		
2 学校教育目標	自他を大切にするとともに、主体的に考え・動く子どもの育成		
3 本年度の重点目標	【令和7年度 呼子小重点プロジェクト】 ①学力の保障 ②ひとりひとりを大切にする教育 ③呼子プライドを育む教育 ④業務改善		

目指す児童像 めざせ！キラリと光る 呼子っ子
よ よく聞かせ 進んで勉強(かしこく＝学力の保障)
ぶ ぶつかるやる気 バリバリ仕事(あたたかく＝勤労奉仕)
こ ことばハキハキ あいさつ礼儀(あたたかく＝自他の尊重)
つ つけようけじめ なくそういじめ(あたたかく＝差別解消)
こ ころキラキラ じょうぶな体(つよく＝生命尊重)

4 重点取組内容・成果指標				主な担当者
(1)共通評価項目				
重点取組			具体的取組	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		
●学力の向上	○学習内容の基礎的学力・学習規律の定着	○「家庭学習に取り組むように声をかけている」保護者の割合が80％以上(アンケート) ○「家庭学習時間や授業内容を意識した宿題を出したり事後指導したりした」教師の割合90％以上(アンケート) ○学びの構えアンケートの態度に関する6項目で「できている」答える児童の割合80％以上 ○読書目標冊数達成児童80％以上	・「よぶこっこ学習だより」を学期に1回発行し、保護者への啓発を図る。 ・「レベプリ」と「ぐんぐんタイム」の、全校の共通実践を行う。 ・宿題や適用問題の全体指導及び個別指導を行う。 ・学びの構えの教室掲示。また、学びの構えアンケートの実施及びその振り返りから児童の学習規律への意識向上を図る。 ・朝の読書の取り組みや必読図書の設定を行い、読書を推奨する。	学習部 研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「学校は楽しい」と答える児童90％以上(児童アンケート) ○児童集会で感想交流が昨年度より活発になる。(観察) ○「友達のがんばりを見つけることができる」と回答した児童90％以上。	・他者を認め合う活動を全学級、一日一回以上設定する。 ・自尊感情を高めるために、帰りの会等で一日をふりかえり自分のがんばりや友達のがんばりを認め合う活動を行う。 ・児童集会やたてわり活動において、異学年間での認め合う時間を設定し、誰もが発言できる場をもつ。	保体・特活部
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 ○人権学習の実施	○いじめ防止等について組織的に対応できていると回答した職員90％以上(職員アンケート)。 ○「自分や友だちを大切にできた」と回答した児童90％以上(児童アンケート) ○「学校では道徳や人権教育などがきちんと実施されている」と回答した保護者90％以上(保護者アンケート)	・毎月第3月曜日に「心のアンケート」を実施して、児童の実態を把握し、早期対応を行う。子ども支援会議の中でも全職員で共通理解を図り、学校全体で児童に対応をしていく。 ・部落差別を解消するための学習の取組を行う。 ・人権映画の実施(6月)、言葉遣いについて考えさせる強化週間の取組(年2回)を行う。 ・SCやSSW巡回指導等の外部機関を活用する。 ・QUアンケートを実施し、それを学級づくりに生かすための研修を行う。	子ども支援部
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童80％以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童85％以上	・地域を生かした学習や夢・目標について考えさせる場面を設け、教科、学校行事等を通して、郷土を誇りに思う心や自己肯定感を高めさせる。 ・キャリアパスポートに学習成果物や学習評価物を整理する機会を、学期に2回設ける。 ・児童一人ひとりが活躍できる場をつくる教育活動に取り組む。	保体・特活部
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」児童生徒90％以上	・毎朝、健康チェックの際に朝ごはんの喫食状況を確認し、食べていない児童には個別に指導する。 ・給食時間中に各教室で食事のマナーに関する指導を行う。また、給食の放送原稿を作成し、毎日給食委員会より放送してもらう。 ・毎月1回程度、家庭へ給食だよりを配付する。	保体・特活部
	○児童の体力の向上	○外遊びを奨励し、佐賀県のスポーツチャレンジに全学級が取り組む。 ○「進んで外遊びやスポーツチャレンジに取り組んだ」と回答した児童90％以上。	・佐賀県のスポーツチャレンジについて取組月間を設け、各学級で一回は必ずチャレンジするよう呼びかける。 ・児童主体の縦割りなわとびタイムを11月に実施する。	保体・特活部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・行事等に見通しをもって取り組んだり、互いに声を掛け合ったりしてハッピーフライデー(定時退勤日)に学校全体で取り組む。月末は、スーパーハッピーフライデーとして、定時退勤を厳守し、全員退勤後30分内の学校施設錠を目指す。 ・業務の効率化のために、事務主査と協力して公共の場所を整理整頓し、職員が働きやすい職場環境を目指す。 ・長期休業中には積極的に声をかけ、1人当たり14日以上の子休取得を目指す。	教頭・事務主査
●特別支援教育の充実	○教育活動のUD化 ○特別支援教育の充実	○どの子も楽しく理解できる授業づくりのために、各自目標を設定し、その目標が「達成できた。」と答える教師が90％以上(アンケート)	・人権が尊重される環境づくりを視点にした授業・教室環境のUD化に努める。 ・教職員の特別支援教育についての知識や理解を深める研修を行う。 ・特別支援教育Cを中心とした支援体制のもと、支援を要する児童の実態を把握し、子ども支援会議、ケース会議を通して、全職員の共通理解を図ることで有効な支援をする。 ・SCやSSW巡回指導等の外部機関を活用する。 ・授業のUD化で児童の学習理解を進める。 ・UD教育の冊子を活用する。 ・UD教材の紹介と活用をする。 ・教師一人一人がUD化に向けた目標をもって取り組む。 ・特別支援教育の理解、啓発のために、保護者に向けた通信を発行する。	特別支援CO 子ども支援部
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				主な担当者
重点取組			具体的取組	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		
◎呼子プライドを育む教育	○◎いきいき学ぶからつつ子育成事業の推進 ○◎海洋教育の推進(学校独自重点取組・任意)	○◎「学校では地域の良さを学ぶ学習に取り組んでいる」と肯定的な回答をした保護者が80％以上(保護者アンケート) ○◎「地域を生かした学習に取り組んだ」と肯定的な回答をした教師が80％以上(教師アンケート)	・地域を題材とした総合的な学習の時間の見直しと再構築を行う。 ・3、4、5年の総合的な学習の時間を中心に、「地域のひと・こと・もの」と関わりながら、呼子の海の下・歴史・環境の学習を年間20時間以上実施する。	教務主任 3・4・5年生担当

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------